

Ⅶ 農 業 物 価 指 数 の 部

解 説

この項には、「農業物価統計調査」の結果から、農業物価指数に関する統計を掲載しています。

1 調査の概要

農業物価統計調査は、農業における投入・産出の物価変動を測定するため、農業経営に直接関係ある物価を把握し、その結果を総合して全国的な農業物価指数を作成することを目的としています。

- (1) 農産物生産者価格は、当該地域における出荷団体等（農業協同組合、集出荷業者、食肉卸売市場等）の中から調査品目の取引を行っているもので、価格の動向を正確に把握できる団体ないしは業者を調査指定先として選び、毎月15日現在（野菜は5日、15日）において取引された農家受取価格を調査したものです。
- (2) 農業生産資材価格は、当該地域において農業生産資材を販売する小売業者や農業協同組合を調査の指定先として選び、毎月15日現在において店頭で取り引きされた価格を調査したものです。
- (3) 特別な事情により、調査が不可能又は15日現在の価格が当該月の平均的な価格から著しくかい離している場合には、15日に接近した日のうち、土曜日、日曜日、月曜日を除く日を調査日としています。

2 農業物価指数の作成要領

この指数は、農産物・農業生産資材の価格指数で作成要領は次のとおりです。

(1) 基準時

平成22年（暦年）1か年としました。

(2) 基準時価格

ア 農産物については、農産物価格調査の月別価格を月別出荷量により加重した年平均価格です。

イ 農業生産資材については、農業生産資材価格調査の月別価格を単純平均した年平均価格です。

(3) ウェイト

ウェイトは、平成22年農業経営統計調査経営形態別経営統計（個別経営）結果による全国1農業経営体当たり平均を用いて、農産物については農業粗収益から作成し、農業生産資材については農業経営費か

ら作成しました。

なお、経営形態別経営統計（個別経営）で把握できない品目については、農業産出額における品目別の産出額等を補完情報として類内の品目別構成割合を算出しました。

(4) 算式

ラスパイレス式（基準時加重相対法算式）によります。

ア 品目別価格指数

$$I_{ti} = \frac{P_{ti}}{P_{0i}} \times 100$$

I_{ti} ……… t 年における i 品目の価格指数

P_{ti} ……… t 年における i 品目の価格

P_{0i} ………基準時における i 品目の価格

イ 総合価格指数

$$I_t = \frac{\sum_i I_{ti} \cdot w_i}{\sum_i w_i} \times 100$$

I_t ……… t 年における総合価格指数

w_i ……… i 品目のウェイト

なお、類別価格指数については、品目の積み上げとなります。

3 用語の解説

(1) 農産物価格指数

農業経営体（農家）が販売する個々の農産物の価格を指数化したものであり、類似した商品群ごとに11の類別にまとめて作成しています。

(2) 農業生産資材価格指数

農業経営体（農家）が購入する農業生産に必要な資材の小売価格を総合した指数であり、類似の商品群ごとに12の類別にまとめて作成しています。